

ZUZO
(R2)
17/4/26
20-323-

右馬允たま五

うぐいすの 花の溢れる 静かな山里を
謳歌しているように 上手に 気持ち良く 美しい鳴声
を聞かせてくれます。庭のゆめじと 赤玉人の手のお
なわいらしい 菜を広げはじめ、正介の巣箱に入れた
ヤマガラは 子育てを始めたように 入れ交わり餌を
運んでいます。このころ 大鹿の朝は 霜が降りること
が多く 風と冷たく 日射しもあり無く夕方には
雨が降ることと 繰り返す日々です。苔は 芽吹き緑
がきれいに 花で 葉に いかり草が 逞しく 咲いて
力強く その隣りで 一人静かに 楚楚と 咲いています。御色
の中に 赤ちんが 居るようです。目を移したところには さくら草が
番よ〜 と 叫んでいるように 見えます。

コロナ感染が 心配なほどに なると思われ、た3月
4月に入り その 恐れに 怯え 19日の お客様を 最後に
休業を 決め 春の 息吹を 独り占め しています。
1981年3月に 結婚。4月29日 石馬允 スタート 39年目の 春です
(55)

連休に お休みするのは 初めて。庭の 草取りが こんどに
楽しいのと 知ることは 初めて。 なんだか 新しい世界が 生まれ
そうです。

やんて さんばかり 云っているのは 老人組だけに 若者達
は そうは いって いら しません。 早朝の 野辺に 出て 寒の中
山菜採集をし 希望される方には 宅配できる 作業を しています。
竹の子は 前島(石馬允)の 私物です。ほとんど なのは 自然の 恵み
音の ため である 訳で スリルを 楽しみながら エネルギーに変えて
いく という 刺激のある 生活を 又々 と 允は 心で しています。 開店して
3年目を 迎えるように している 亮の 店と ともに います。 彼は この 村
な(別紙に) 企画を しました。 姉弟 同じ 器の中 に 居ま
すので 団結力は 最上級。 厳しい 現実と 笑いに 持て
いける パワー を 持ち 合わせて いる ようです。 ありから
40年の 私達は 肉体的には あまり お役に 立てない
状態 には あります。 正介なりに 本なりに 協力 の 体勢
を なんとか できて あります。 生きる という ことは 大変なこと です。
若者の 新鮮な エネルギー を みずから 感じながら 日々 生活
を 送る こと には 大変 だ と思 っています。

春眠 暁を 覚えず 昔の頃は 女時起きて
頑張りました。 今日 覚めると 5時半。 春だから
しかたないのかなと... 2.6 今日 しっかり 睡眠
しっかり お食事。 しっかり 手洗い。 これが いいのだ!!